

OMC事務局 〒560-0085 豊中市上新田4-16-1-33 合原一夫 TEL06-6833-9227
 広報編集局 〒573-1171 枚方市三栗1-18-20 前田茂夫 TEL072-850-5781
<http://www.ne.jp/asahi/smaeda/12/>

平成22年3月(2010年) No.531

わがクラブにも3D作品が登場!

井上会員がパソコン持参で上映

劇場映画で大ヒット中のアメリカ3D映画「アバター」がアカデミー賞でも話題になりましたが、わがOMCにも3D作品が登場しました。井上勝彦会員がパソコンを持参され、休憩後の第2部のトップに上映。赤色と青色の眼鏡を出席者全員に貸し出されて鑑賞いたしました。題材は神戸ルミナリエで夜の灯りです。なるほど立体的に奥行きのある映像でした。

2台のカメラで撮影され、編集も技術的に難しいと思いますがよく研究されて乗り越えておられます。画面の立体感はなるほど相当なものがありますが、色彩の方はいまひとつといった感じで、今のところ実験段階だと思えますが旺盛なる挑戦魂には脱帽です。

井上さんは、平成19年3月例会で「神戸ハーブ園温室」の題名で3D作品を持参され、会員諸氏をうならせた経歴があります。国際的な集まりにも参加され、世界の同好の人達との交流もなさっていて、昨年12月例会では「ISUコンGRESS 2009」というオーストリアで行われたISU世界大会に出席されたときの記録作品を発表されています。

家庭用テレビにも3D対応が発表されるというニュースがあり、これからは単なるハイビジョンを超えた3D映画全盛時代が来るかもしれませんが、そのときまで我が身が持つかどうか。とにかく井上会員の開拓者精神に敬意を表します。

3例会のお知らせ

3月例会は27日(第4土曜日)午後6時より、難波市民学習センター(JR難波駅上OCATビル4階)で開催します。月1回の楽しい例会です。ぜひお越しください。作品の方もどうぞよろしく。

**OMC第50回記念映像フェスティバルは10月17日
(日)地下鉄淀屋橋駅前 朝日生命ホールで開催します**

■朝日生命ホールでの発表会は平成8年 以来のことで「50周年」の節目です

OMC発表会は、フィルム時代からずっと地下鉄御堂筋線淀屋橋駅のすぐ横にある朝日生命ホールで行っていました。前会長の小倉宝蔵さんの時代までです。その後経費節減の意味もあって、阿倍野市民学習センター講堂から、大阪市立中央会館ホールでやって参り、今日に至っております。朝日生命ホールはアマチュア映画発表会の殿堂であり、そこでの発表は誇りに思ったものです。

今年50周年を迎えたOMC映像発表会を、かつてのアマチュア映画発表会の殿堂だった「朝日生命ホール」にしたのは。生涯で最初で最後の50周年だとの思いが強いからです。

■今迄の会場は17時で閉館という問題点

中央会館は休日は夜間はありませんので1時から始めて4時半過ぎには終わらなければならず、時間の関係でせいぜい14～16作品しか上映できませんでした。50周年記念発表会では1人でも多くの方の作品を上映できるよう6時少々過ぎてもよいような会場が望ましく、この点からも朝日生命ホールを選んだ理由です。

■資金カンパにご協力を願います

公営の会場に比べて経費がかかるのはやむを得ません。繰越金の一部を充当しますが出品料のほか多くの方々からの資金カンパをお願いしたいと思います。

■発表会作品は6月例会迄の作品より選定

例年は7月例会までの作品から選んでいましたが、プログラムを早目に作ってPRしたいので今年は6月例会作品迄の作品より選考してプログラム編成いたします。

2月例会のレポート

バンクーバーオリンピックが最終章を迎えたにも拘わらず27名の会員が出席。そして京都から京都アマチュア映像連盟会長の中嶋哲氏が姿を見せられた。

作品数15本で、なかでも井上会員が3D作品とパソコン持参の出席。3D作品は

全国のクラブの例会にさきがけて我がクラブが初登場か。3D作品が公開映写会に登場するのも夢ではなくなった。また藤原会員がキャノンのEOS7Dのデジタル一眼レフカメラで撮影された作品を編集してもらった。まさにOMCの例会場は春の嵐が吹きあれた。(岡本記)

今月は、司会、有村さん、書記、岡本さん、デッキ係に増池さん、江村さん、河合さん、受付兼照明係を華岡さん、宮崎さんの担当で進行了しました。

◆出席者：有村、石垣、井上、岩井、上田、江藤、江村、岡本、上総、紙本、河合、合原、進藤、関、対馬、錦、西村、華岡、藤原、前田、宮井、宮崎、森口、森下、森田、増池、山本、吉岡の28名(敬称略)と見学者中島さんの29名と作品15本でした。

1. ありし日のあそBOY (DV)

前田茂夫さん 14分50秒

このところ、SLブームが再燃してきました。我がクラブ撮影会も5月に「大井川鉄道とその沿線」と決まりました。その関係もあって、SLファンでもある作者が、平成13年5月に「SLあそBOY」を撮影されたものを編集されてもらいました。この「SLあそBOY」は大正11年に誕生して以来、昭和50年3月まで九州で活躍した8620形機関車58645号機(通称ハチロク)が昭和63年「SLあそBOY」として、九州旅客鉄道(JR九州)が豊肥本線の熊本駅・宮地駅間を運行していた蒸気機関車牽引の臨時快速列車です。その後車輛老朽のため平成17年8月28日を最後に運行を終えました(その後大修理され別路線の肥薩線で復活運行されています)。力強くドラフト音を響かせながら、煙をたなびかせて山野を走る勇姿はファンならずとも郷愁を覚えさせてくれる貴重な映像です。

2. 馬駆ける宮 (W)

森口吉正さん 9分50秒

京都伏見、深草の里に、平安遷都以前から祀られている古い社、勝運と馬の神様として知られる藤森神社があります。

毎年5月5日行われている深草祭を取材されました。少年鼓笛隊、稚児武者行列、神輿のパレードからはじまります。パレードが終われば、馬場を馬に乗ってはしりながら馬上でいろいろな技を見せるショーが始まります。藤下がり、手綱潜り、立ち乗り、さか乗り、さか立ち、一字書きの芸を見せていただきました。中には、落馬して笑いを誘う場面もありました。多くの観光客が楽しんでいる様子がよくできていました。

3. 堂島土佐堀川ナイトクルージング

(HDV) 森田光春さん 8分38秒

昨年の12月に天神橋から土佐堀川を小型のボートでクルーズしたものを船上から撮影されています。ところどころに陸上からの映像もいれられています。イルミネーションの美しさがよくできていますが、現地音が気にかかります。いっそとってしまつてBGMをいれた方がよかつたかと思いますが、どうでしょうか。

4. 長浜曳山祭 (HDV)

河合原七郎さん 19分40秒

平成19年4月にこの「長浜曳山祭」を撮影されました。20年9月例会に第1作目を発表されてからその後3作品を発表されました。それらの作品を総編集されたのがこの作品です。

この祭りの起源については前回リポートさせていただきましたので割愛しますが、まずはこの作品、「カミをまつる」ところから祭りはじまったという解説から始まります。年に一度「あらぶるカミ」を慰める為村人たちが神輿を出して芸能を奉納してカミと共存することが祭りの原点とか。芸能とは、移動式舞台を載せた曳山の上で、子どもたちによる歌舞伎狂言が上演されます。上演する曳山は12基あり、4年に一度3基づつ「出番山」をつとめますが、この年は90年ぶりにすべての山がだされました。ふんどし姿の若衆が禊の祈りから、御幣迎え、籤とり神事、子ども歌舞伎上演から夕渡り、神輿が自町に帰る神輿環御まで3日間にわたる神事が限無く撮られてい

る超大作品です。20時間の素材からまとめられたそうでよくまとめられました。

5. 映像きしわだの活動 (HDV)

宮井 健さん 8分10秒

「映像きしわだ」のクラブに所属する作者、クラブの活動の様子をまとめられました。会員たちの協力で、まずは地域のひとたちの防災訓練の様態を撮影されてまとめられた作品をケーブルテレビ「TVK」の「ビデオめい作座」で放映されたシーンです。地域に貢献しながらビデオを楽しむこともいいことですね。これからも頑張ってください。

6. 観光列車「天空」(HDV)

上田吉巳さん 7分00秒

南海電鉄高野線、橋本駅から極楽橋駅に観光列車「天空」が、昨年の7月3日にデビューしたのを撮影された作品です。

一般車輦2200系を改造した天空は、「橋本駅」から「極楽橋」までの19.8キロを深い緑の中を天へ昇るように進む。片道40分の電車旅情を記録、険しい山間の風景を見渡すことのできるワンビュー座席、自然の風を感じる展望デッキ、まさに気分は天空へと誘ってくれそうな情景です。さらに「極楽橋」からはケーブルカーで標高867メートルの世界遺産高野山へ、山頂ではゆるきやら「こうやくん」と平安衣装の美女二人のお出迎えてエンディング、楽しい作品でした。

7. 有馬温泉献湯式 (HDV)

吉岡貞夫さん 10分50秒

西宮えびす神社といえ、この作者。今年も1月9日の宵宮を撮影されました。

福を求めて、境内いっぱい参拝客でにぎわいをみせています。いよいよ日本の名湯の有馬温泉から汲み出した神霊泉の初湯の奉納式が始まりました。温泉芸者衆の「よい湯」(よいと)という掛け声で湯もみ式のあと角樽にお湯を入れて神前に献上され、商売繁盛と温泉町の繁栄を祈願されていました。えべっさんの賑わいがよくできていました。

8. 3D神戸ルミナリエ2009 (HDV)

井上勝彦さん 8分13秒

この作品は先月の例会で平面画面で上映されたものなので内容については省略させていただきます。もとは3D撮影されたもので今回、パソコンと3D対応メガネを皆さんにくばられての上映です。その立体映像を楽しませていただきました。わがクラブで上映されたのは驚きです。今、全世界で「AVATAR」はじめ3D映画が流行だが、将来家庭で3D映画が楽しめる時代がきそうです。すでにパナソニックやソニーが発売予定だとか。私にはメカニズムについてはよくわかりませんが、アマチュアが3D作品をつくる時がきたようです。が、まだ時間がかかるような気がします。メガネをかけて見るのも抵抗感があります。しかしそれも解消される時がくるでしょう。あわせて画質も改善されると思います。作者の井上さんに拍手。

9. 四季彩々 (HDV)

有村 博さん 8分30秒

過去4年間でハイビジョンで撮影された中からベストカットばかりを選ばれて、春夏秋冬の情景をまとめられました。山岳映像や街の公園の風情などたくさんのカットで構成されています。BGMがヴィジュアルディの「四季」にのせて、動く名画をみているようです。エンディングは春を待つ情景で終わればなお良かったと思います。

10. さくらよさこい (HDV)

江村一郎さん 6分00秒

桜の季節、京都のよさこい踊りを撮られました。艶やかな衣装の踊り子さんできれいな作品ですが、やはり本場のよさこいをみせていただいているので、もうひとつ迫力にかけますね。バックのビルがよくないと司会者の意見でした。でもさすが江村さんカットつながりが良かったですよ。

11. 三谷祭 (HDV)

紙本 勝さん 9分00秒

愛知県蒲郡市三谷町の三谷祭(みやまつり)を取材されました。この祭りは八剱神社と若宮神社の例大祭で山車を海に曳きこ

む「海中と渡御」が呼び物です。大勢の若衆が山車をかついで海を渡るシーンは圧巻です。いろいろな山車の中でも10メートル以上もある山車柱はみごとでした。カメラがそばによれないのが残念ですね。

12. 虎と天狗と鬼 (HDV)

進藤信男さん 11分02秒

毎年、その年の干支をテーマにした作品をつくられている作者。去年は「丑」で京都の北野天満宮でした。今年は、京都松尾山鞍馬寺に行かれました。山門に出迎えてくれたのはあうんのトラ、山奥には山の精霊である天狗が住むといわれている話など鞍馬寺を紹介されていました。

13. ターミナル到着 (HDV)

藤原純三さん 2分40秒

キャノンから発売されたムービー機能搭載のデジタル一眼レフカメラEOS 7Dで撮影されて編集されました。撮影場所は大阪伊丹空港です。望遠、標準、魚眼、超広角、レンズ使用で撮影されたとか、迫力ある映像を見せていただきました。飛行機の到着シーンは迫力満点で凄かったです。

14. 疎水を巡る京都南禅寺界限 (HDV)

宮崎紀代子さん 7分44秒

紅葉のころ、京都南禅寺界限を訪ねられました。明治23年に完成した琵琶湖疎水事業の歴史を語られながら蹴上公園や哲学の道などを散策されています。詳しく調べられてそつなくまとめられました。良かったです。

15. パムッカレ (HDV)

山本正夢さん 5分40秒

いつも海外のめずらしい映像を見せていただきます。パムッカレはトルコの西部のデニズリ県にあるユネスコの世界遺産だそうです。弱酸性雨によってできた丘陵地帯の純白の石灰棚がとても美しい。その炭酸カルシュームの地下水が地熱で暖められて湧き出でできた温泉にはいる人々。2世紀ごろ、ヒラポリスというローマ帝国があった、現在は遺跡になっているところを見せていただきました。一度行って見たいところですよ。